



第 32 回 関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）の開催について（ご案内）

「関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）」は、実務者目線を基本理念に、障がい学生支援に関する様々なテーマで活発な議論、意見や情報の交換、ネットワークづくりを行うための実務担当者の懇談会です。

◆日時：2024年2月29日（木）12：45～17：00

◆会場：キャンパスプラザ京都 4階 第3講義室他
（京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939）

《アクセス》京都市営地下鉄烏丸線、JR各線、近鉄京都線「京都駅」から徒歩5分

◆対象：関西圏の大学・短期大学で障がい学生支援に関わっている、または関心のある教職員

◆定員：60名（申込先着順）

◆参加費：無料

◆内容：

時間	内容
12：45	開会挨拶
12：55	<p>話題提供 『高等教育段階での障害のある学生支援について』</p> <p>《講師》 小栗 孝明 氏 （文部科学省高等教育局学生支援課課長補佐）</p> <p>《コーディネーター》 村田 淳 氏 （京都大学 学生総合支援機構 准教授／DRC チーフコーディネーター、HEAP ディレクター）</p> <p>《内容》 現在、高等教育段階において障害のある学生への対応の必要性が増しており、各大学等においては支援体制の構築や合理的配慮に関するシステム・ガイドライン等が整備されるようになってきた。2024年4月には私立大学においても合理的配慮の提供が法的義務となるなど、障害学生支援の機能は各大学等におけるインフラ的な機能と位置づけられる。本話題提供を通じて、このような社会的動向と今後の展望を知る機会としたい。</p>
13：45	休憩・移動
13：55	<p>分科会</p> <p>A 支援体制・システムやスタッフマネジメントを考える 定員：10名</p> <p>障がい学生支援は組織的な取り組みであり、支援コーディネートだけでなく支援体制の整備や合理的配慮を提供するためのフロー等が不可欠です。また、今後は改正障害者差別解消法の動向をうけて、紛争防止・解決の仕組みについても検討する必要性が生じます。</p> <p>本分科会では、障がい学生支援に関するマネジメント全般についてお話し合う機会とします。参加者からは自大学の支援体制について、簡単にご紹介頂く予定です。可能であれば、資料（学生配付用のリーフレット等）を10部ご用意頂きますようお願いいたします。</p>



	<p>B コーディネートの基礎編 ～合理的配慮の考え方～ 定員：10名</p> <p>障がい学生支援の担当者、コーディネーターになって経験年数が浅い方を対象とした分科会です。「合理的配慮って実はまだよく分からない」「コーディネーターってどういう役割?」「こんな時どうしたらよい?」など、みなさんの不安や疑問、実際に現場で困ったことなどを、気軽に聞いたり、ざっくばらんに話したりできる機会とします。</p>
	<p>C コーディネートの応用編 –コーディネート業務経験概ね3年以上– 定員：10名</p> <p>合理的配慮は、障がいのある学生から支援・配慮の相談を受けたあと、当該学生との面談のうえ、必要かつ合理的と判断した項目について検討し、内容を決定していきますが、担当教員から同意を得られなかったり、一旦合意をとったあと再調整が必要となるケースがあります。トラブルとなったケースを含め、それらの対応と対策について意見交換・情報交換を行う機会とします。</p>
	<p>D 小規模大学における障がい学生支援 定員：10名</p> <p>主に学生数3,000名以下の大学を対象とした分科会です。 小規模大学ならではの支援の実態や課題についてざっくばらんに意見交換を行います。また、間近に迫った改正障害者差別解消法施行に向けての体制構築など各大学が押さえておくべきポイントについて確認する機会とします。</p>
	<p>E 障がいのある学生のキャリア支援 定員：20名</p> <p>大学でキャリア教育の実施が求められるようになり、十数年が経ちました。障がい学生支援の分野においても、社会への移行を考えたときに、どのような教育やサポートが必要なのか、大変重要なトピックかと思えます。 本分科会では、就労移行支援事業所 株式会社 エンカレッジ様をお招きし、学生が利用できる社会資源やキャリア教育の取組み等についてレクチャーいただきます。その後小グループでの懇談や質疑応答等を通じ、キャリア支援に関する理解を深めます。</p>
16:25	休憩・移動
16:35	まとめ
17:00	閉会

◆申込注意：以下、必ずご確認ください。

<分科会の参加について>

分科会A～Eにおける希望順位を第3希望までご選択ください。先着順となるためご希望に沿えない可能性もありますのであらかじめご了承ください。

【注1】 分科会で取り扱うトピックスとして反映させていただくため、自大学で困っている事や課題、取り上げてほしいトピックス等を参加申込フォームにご入力ください。

(例) 予算的に障がい学生が求めている事に対応するのが難しい状態を、納得してもらえないのではないかと心配。

【注2】 事前に所属大学の学生数、支援体制の有無（有の場合は課員の人数）を併記してください。

【注3】 ご参加いただく分科会は、開催7日前頃にお送りするメールに記載し、定員を超える場合は、先着の

方を優先して配置いたします。なお、分科会A～Eへのご参加に際しまして、個別アンケートにご協力いただく場合がございます。

◆申込方法：下記 URL の参加申込ページよりお申込みください。

<http://www.consortium.or.jp/project/dss/kssk>

※参加申込フォームが送信できない場合は別途メールにて対応しますので、下記の事務局（お問い合わせ先）までその旨をご連絡ください。

※頂戴した個人情報は KSSK の運営にかかわる目的にのみ使用させていただきます。なお、分科会運営の為、幹事会構成員から別途ご連絡を差し上げる場合がありますことをご了承ください。

◆申込期間：2024年1月12日(金)～2024年2月14日(水)まで（定員になり次第、締め切ります）

【主催】公益財団法人 大学コンソーシアム京都

【企画・運営】関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会

【協力】京都大学 HEAP（高等教育アクセシビリティプラットフォーム）

以 上

【お問い合わせ先】

公益財団法人大学コンソーシアム京都 学生支援事業部 担当：松原・兒子

（事務開室時間）火曜日～土曜日 9：00～17：00

TEL：075-353-9189 FAX：075-353-9101 E-mail：gk-ml@consortium.or.jp